

5. メディア・コミュニケーションのこと

< 友だちとのコミュニケーション方法 >

問23 あなたにとって、友だちとコミュニケーション(気持ちや情報の伝達など)をとるとき、いちばん気持ちが楽な方法はどれですか。

【全体集計結果】

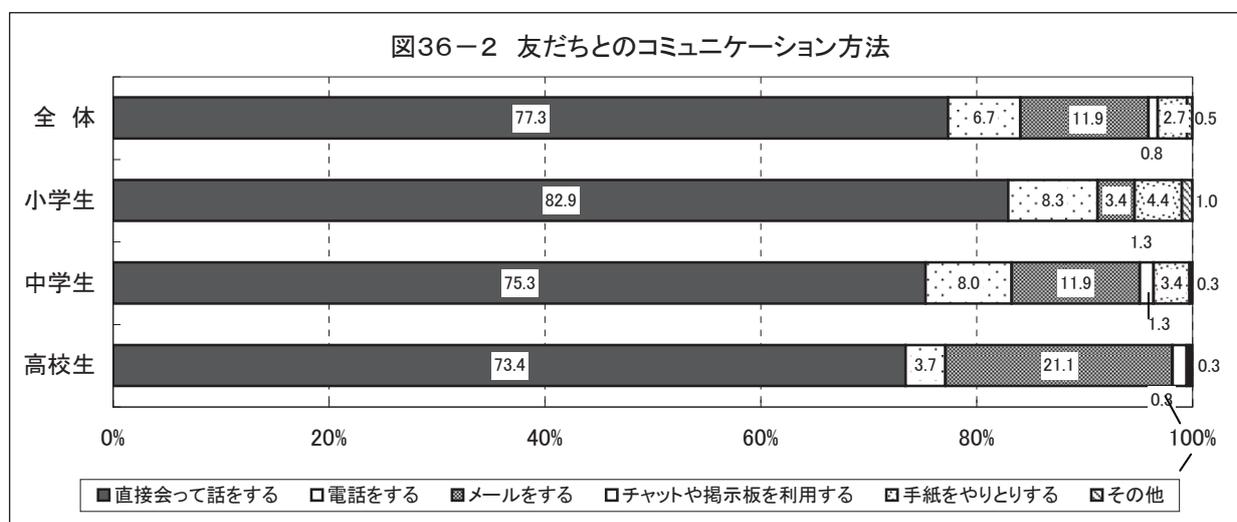
友だちとのコミュニケーション方法について尋ねたところ、「直接会って話をする」が77.3%で最も高く、以下、「メールをする」(11.9%)、「電話をする」(6.7%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「直接会って話をする」が82.9%で最も高く、以下、「電話をする」(8.3%)、「手紙をやりとりする」(4.4%)などとなっている。

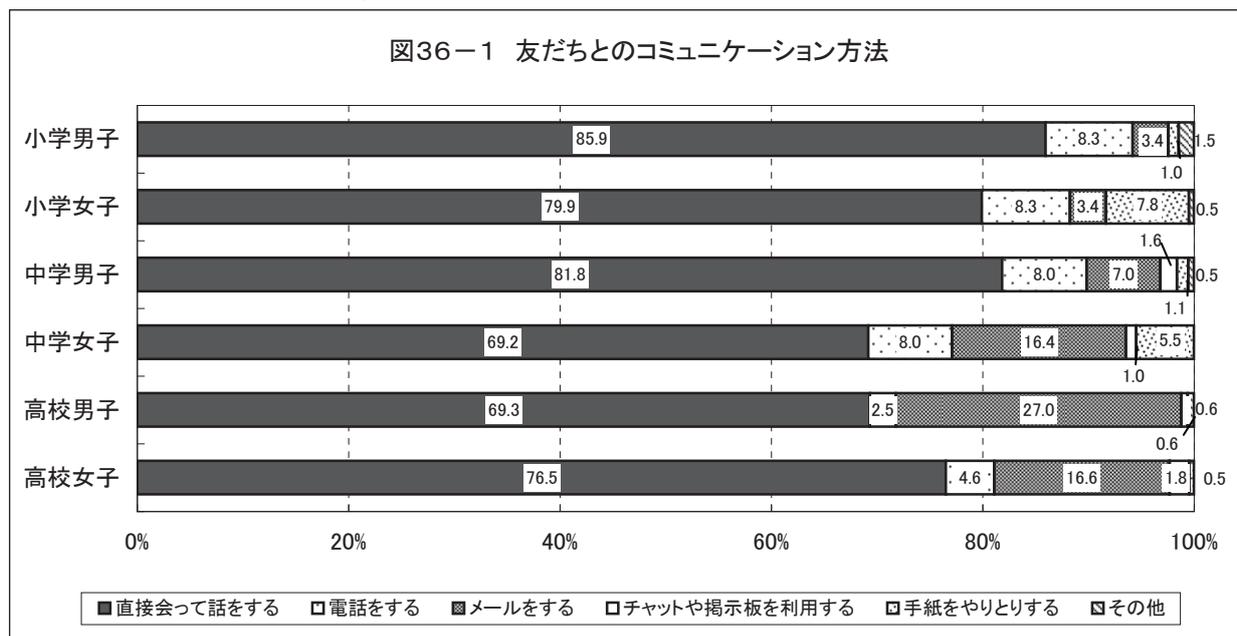
中学生では、「直接会って話をする」が75.3%で最も高く、以下、「メールをする」(11.9%)、「電話をする」(8.0%)などとなっている。

高校生では、「直接会って話をする」が73.4%で最も高く、以下、「メールをする」(21.1%)、「電話をする」(3.7%)などとなっている。



【属性別集計結果】

「メールをする」を見てみると、高校男子が27.0%で最も高く、以下高校女子(16.6%)、中学女子(16.4%)となっている。



< 携帯電話の所有状況 >

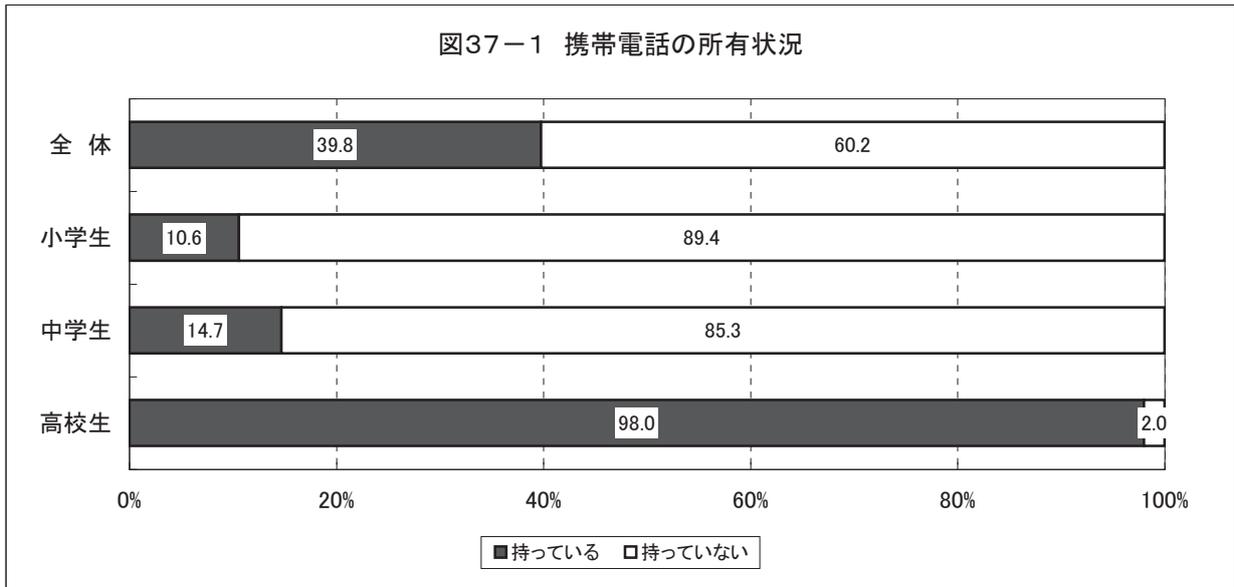
問24 あなたは自分専用の携帯電話を持っていますか。

【全体集計結果】

携帯電話を持っているかどうかを尋ねたところ、「持っている」が39.8%となっており、「持っていない」よりも20.4ポイント低い。

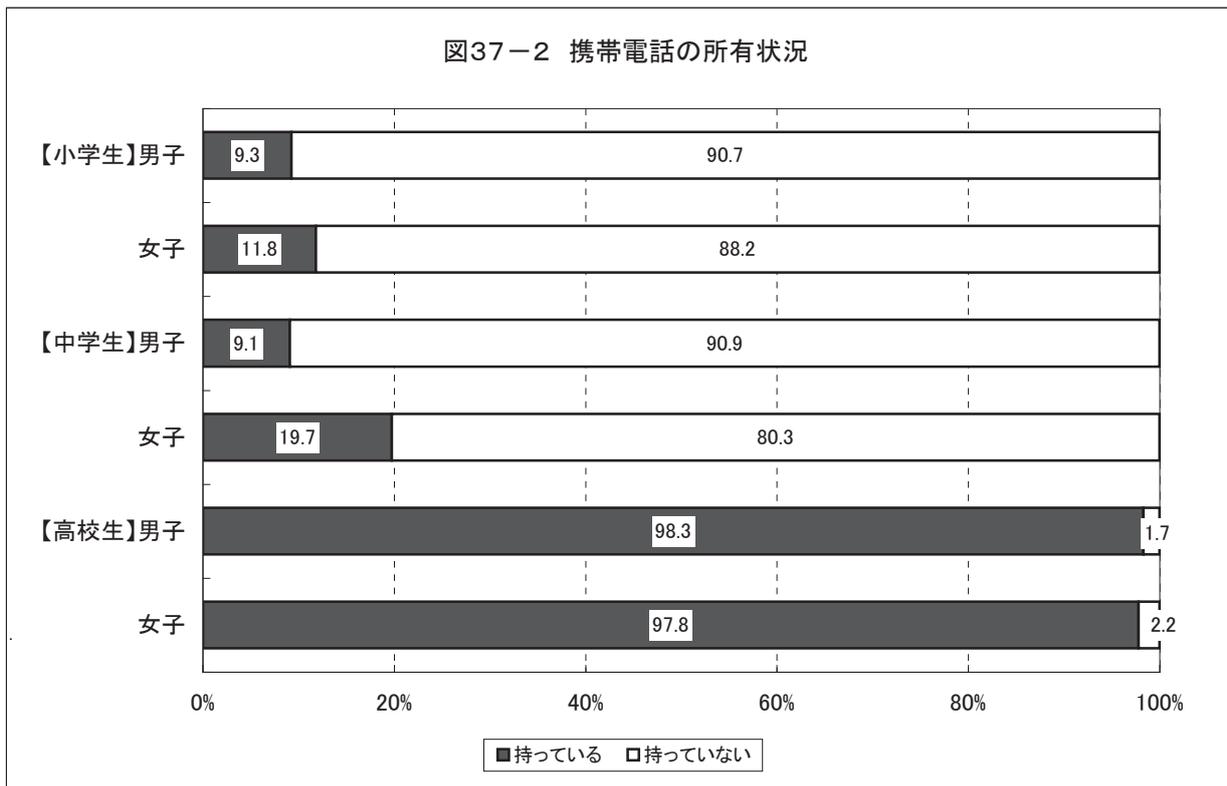
【学校種別集計結果】

携帯電話の所有率が最も高いのは、高校生の98.0%で、以下、中学生(14.7%)、小学生(10.6%)となっている。



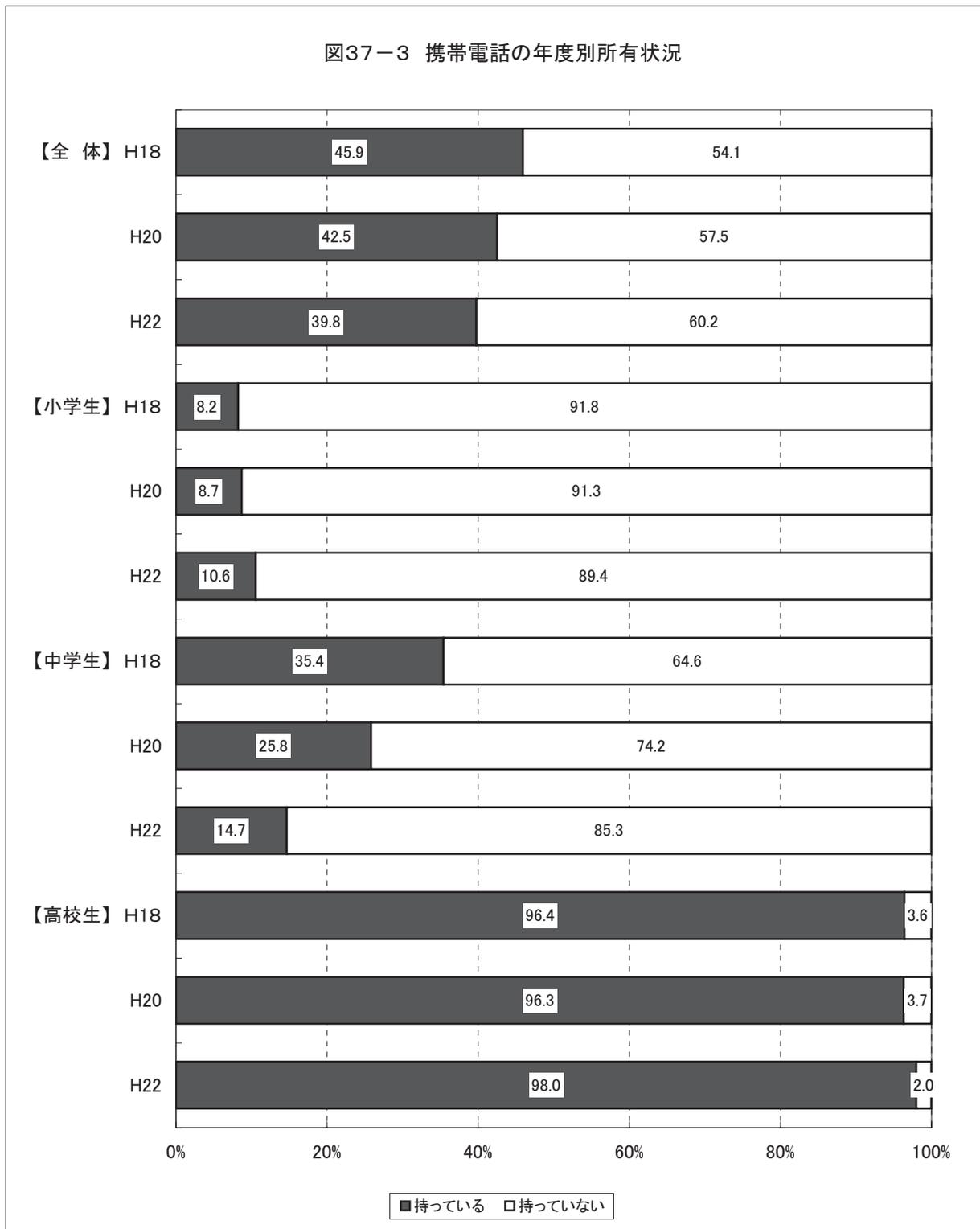
【属性別集計結果】

高校生では、所有率に男女間に差が見られないが、小学生、中学生では、女子のほうが男子よりも所有率が高い。



【時系列比較(平成18年度、20年度と22年度との調査比較)】

平成20年度と22年度の所有率を比較すると、全体では2.7ポイント下回っている。学校種別に所有率を見てみると、小学生では1.9ポイント、高校生では1.7ポイント高くなっているのに対し、中学生では9.6ポイント低くなっている。



< 携帯電話の使用目的 >

問24(1) 問24で「持っている」を選んだ人に聞きます。あなたは、携帯電話をどのような目的で使うことが多いですか。あてはまるものは、いくつでも選んでください。

【全体集計結果】

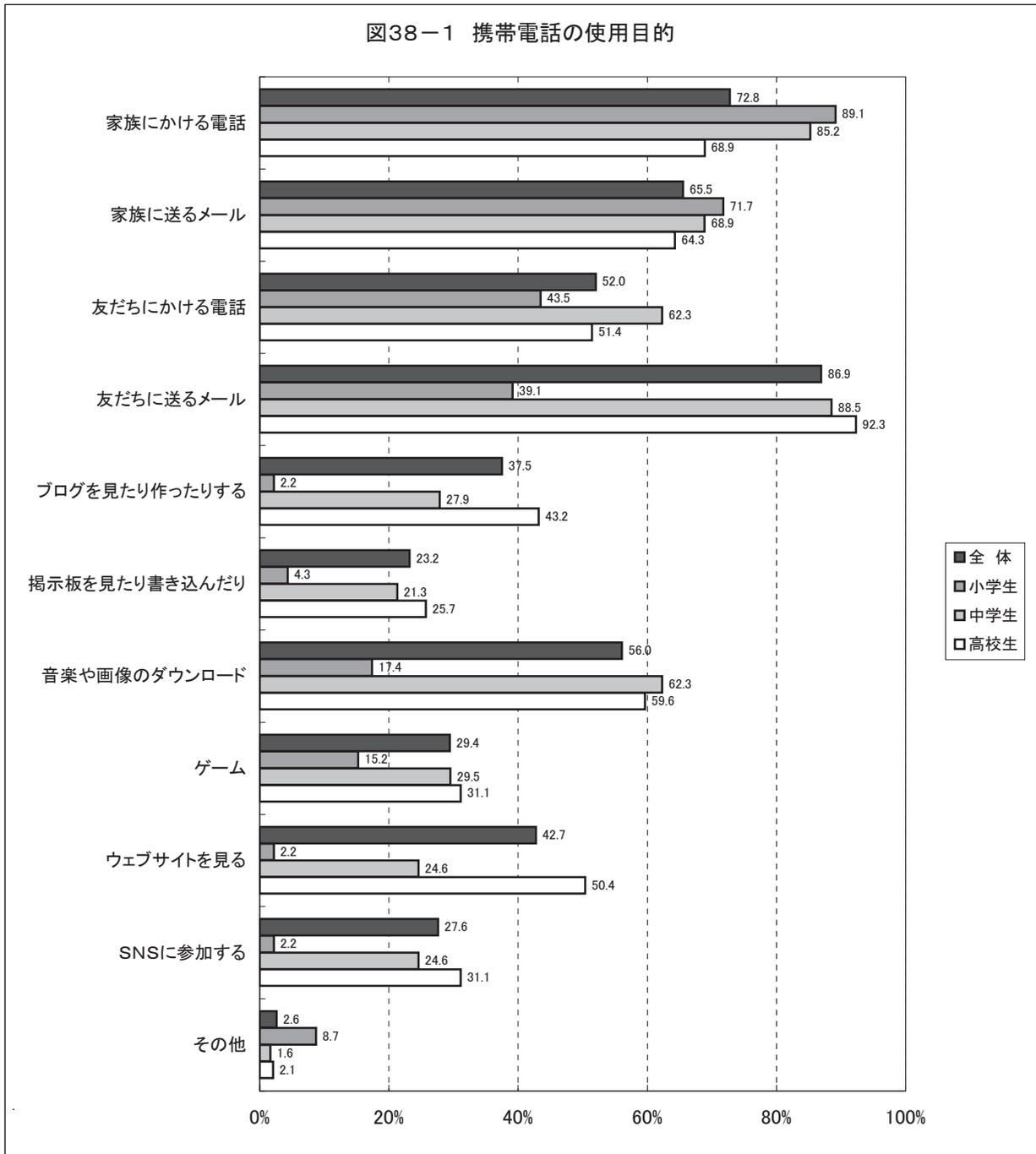
携帯電話の使用目的を尋ねたところ、「友だちに送るメール」が86.9%で最も高く、以下、「家族にかける電話」(72.8%)、「家族に送るメール」(65.5%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「家族にかける電話」(89.1%)、「家族に送るメール」(71.7%)、「友だちにかける電話」(43.5%)が上位を占めている。

中学生では、「友だちに送るメール」(88.5%)、「家族にかける電話」(85.2%)、「家族に送るメール」(68.9%)が上位を占めている。

高校生では、「友だちに送るメール」(92.3%)、「家族にかける電話」(68.9%)、「家族に送るメール」(64.3%)が上位を占めている。

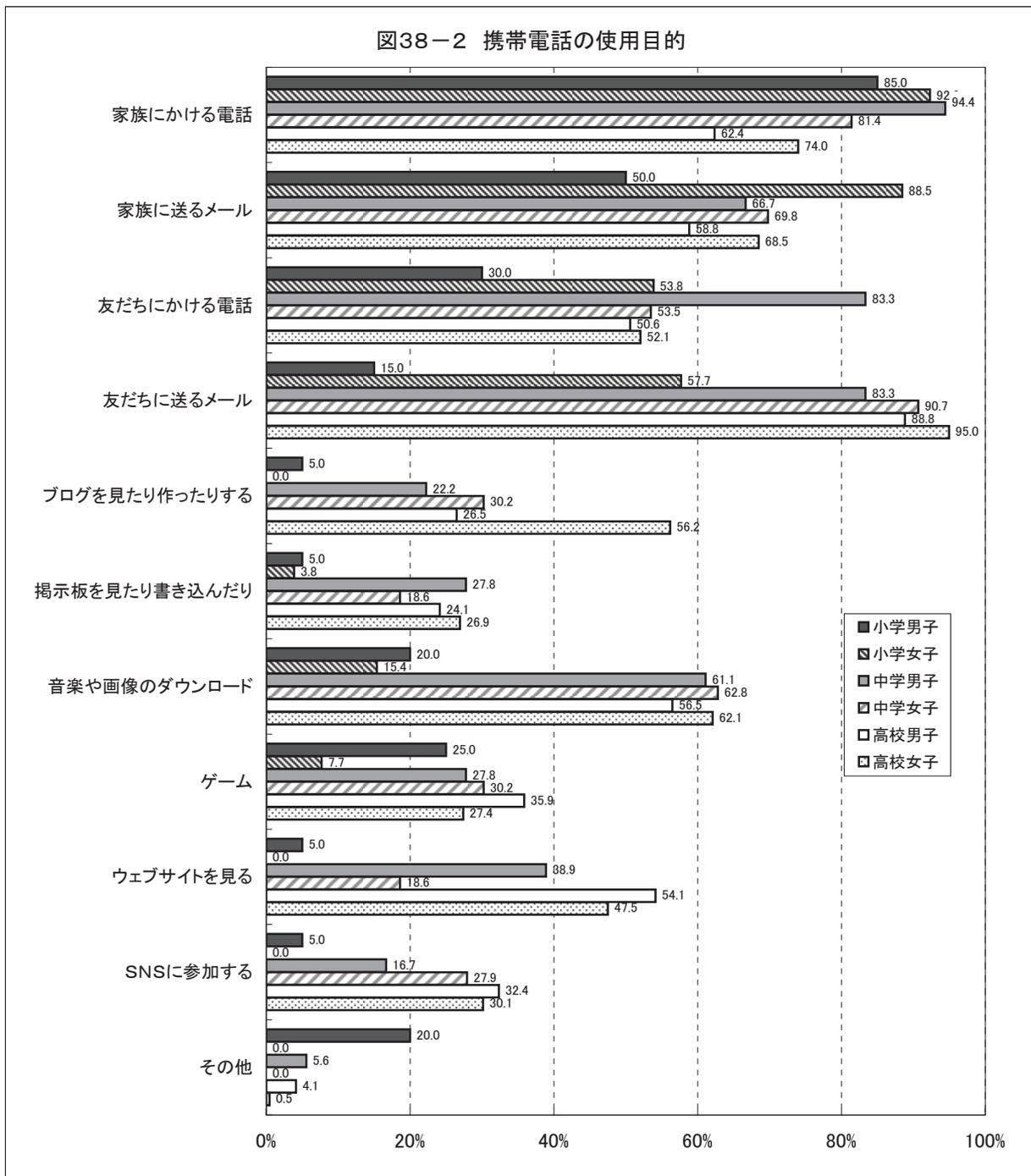


【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようにになっている。

〈小学男子〉	〈小学女子〉
「家族にかける電話」(85.0%)	「家族にかける電話」(92.3%)
「家族に送るメール」(50.0%)	「家族に送るメール」(88.5%)
「友だちにかける電話」(30.0%)	「友だちに送るメール」(57.7%)
〈中学男子〉	〈中学女子〉
「家族にかける電話」(94.4%)	「友だちに送るメール」(90.7%)
「友だちに送るメール」(83.3%)	「家族にかける電話」(81.4%)
「家族に送るメール」(83.3%)	「家族に送るメール」(69.8%)
〈高校男子〉	〈高校女子〉
「友だちに送るメール」(88.8%)	「友だちに送るメール」(95.0%)
「家族にかける電話」(62.4%)	「家族にかける電話」(74.0%)
「家族に送るメール」(58.8%)	「家族に送るメール」(68.5%)

図38-2 携帯電話の使用目的



< 携帯電話の使用時間 >

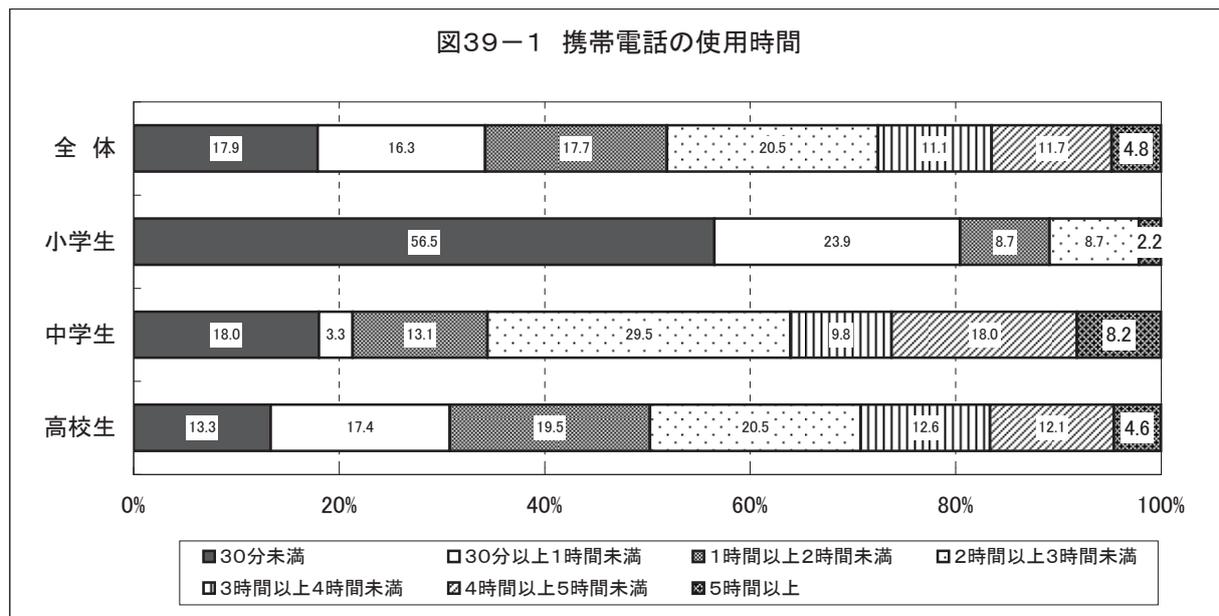
問24(2) 問24で「持っている」を選んだ人に聞きます。あなたは、携帯電話を一日にどのくらい使用していますか。

【全体集計結果】

携帯電話の使用時間を尋ねたところ、「2時間以上3時間未満」が20.5%で最も高く、以下、「30分未満」(17.9%)、「1時間以上2時間未満」(17.7%)などとなっている。

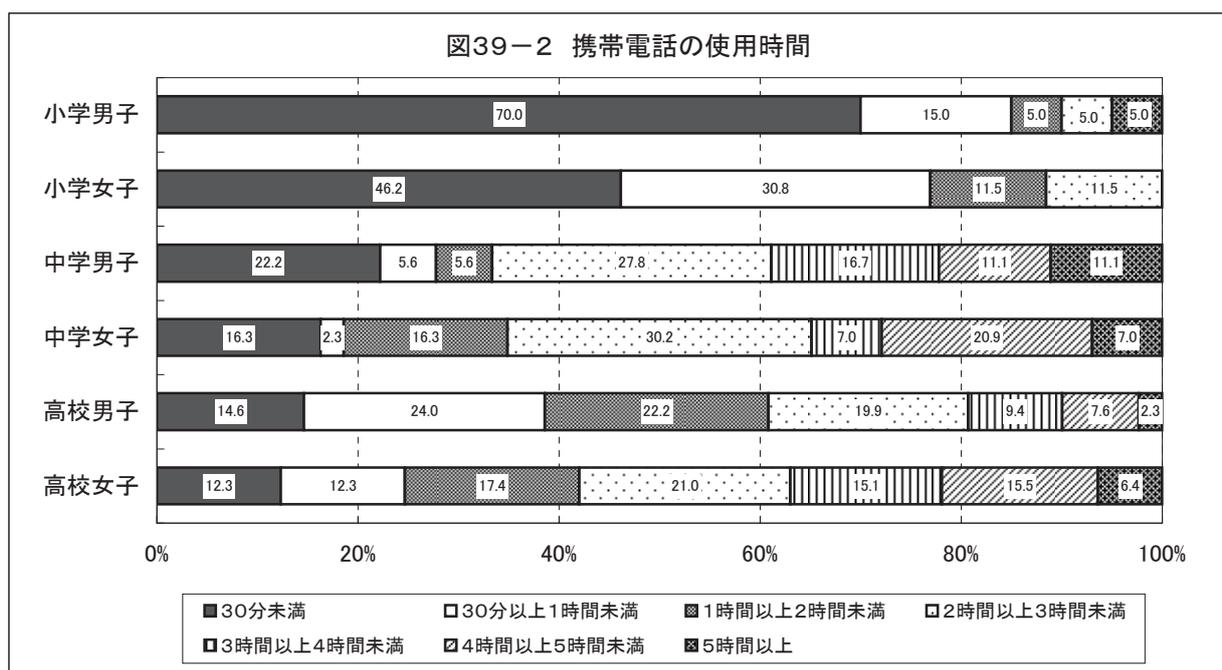
【学校種別集計結果】

学校種別に使用時間について見てみると、小学生は「30分未満」が56.5%で最も高く、中学生、高校生では、「2時間以上3時間未満」が20.5%で最も高い。



【属性別集計結果】

属性別に携帯電話の使用時間を見てみると、小学生は「30分未満」(男子:70.0%、女子46.2%)が男女ともに最も高い。また、中学生は「2時間以上3時間未満」(男子:27.8%、女子30.2%)が男女ともに最も高い。高校生では、男子は「30分以上1時間未満」(24.0%)、女子は「2時間以上3時間未満」(21.0%)が最も高い。



< 自由に使えるパソコンの所有状況 >

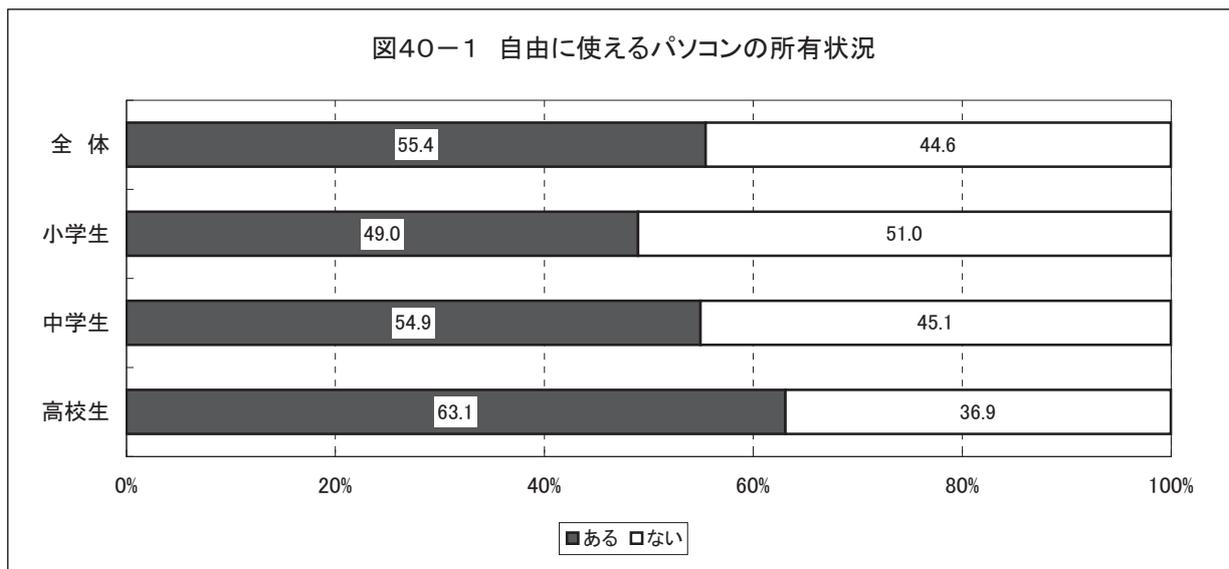
問25 あなたの家には、あなたが自由に使えるパソコンがありますか。

【全体集計結果】

自由に使えるパソコンがあるかどうかを尋ねたところ、「ある」が55.4%となっており、「ない」(44.6%)よりも10.8ポイント高い。

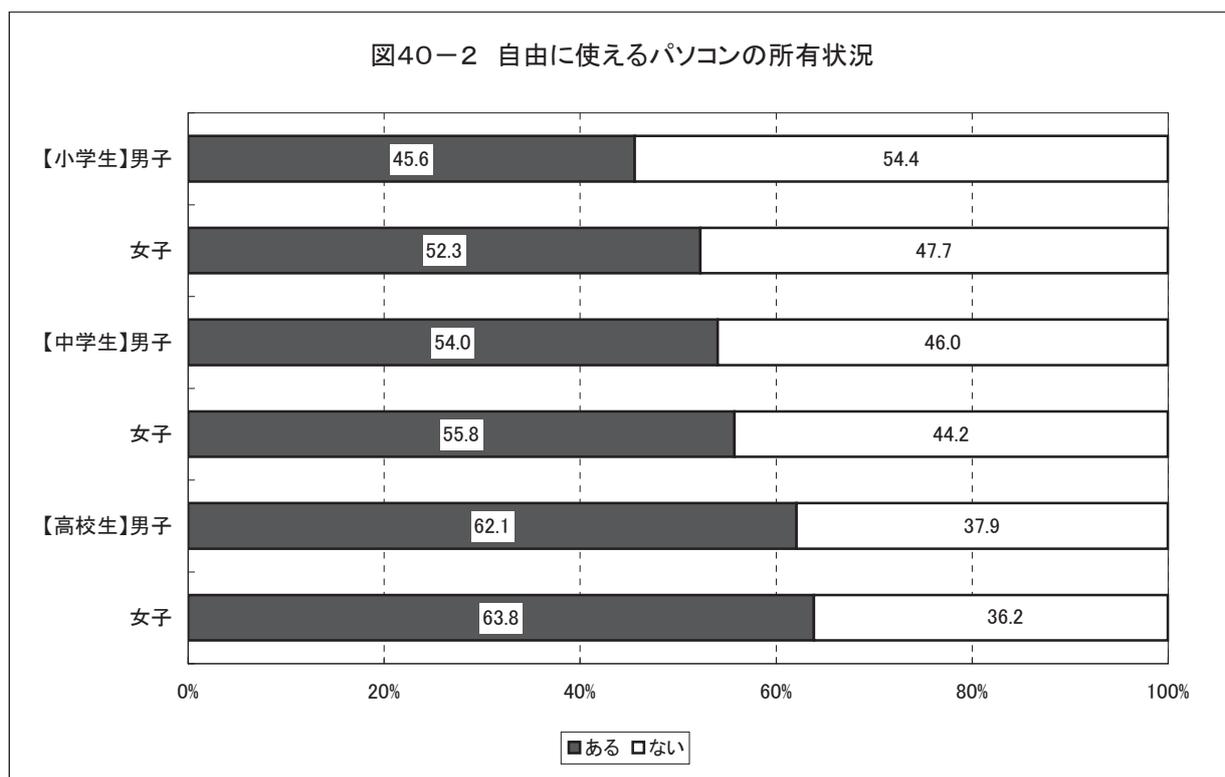
【学校種別集計結果】

自由に使えるパソコンの所有率が最も高いのは、高校生の63.1%で、以下、中学生が54.9%、小学生が49.0%となっている。



【属性別集計結果】

『自由に使えるパソコン』の所有率が最も高いのは、高校女子で63.8%となっており、以下、高校男子(62.1%)、中学女子(55.8%)などとなっている。



< 自由に使えるパソコンの使用目的 >

問25(1) 問25で「ある」を選んだ人に聞きます。あなたは、パソコンをどのような目的で使うことが多いですか。あてはまるものは、いくつでも選んでください。

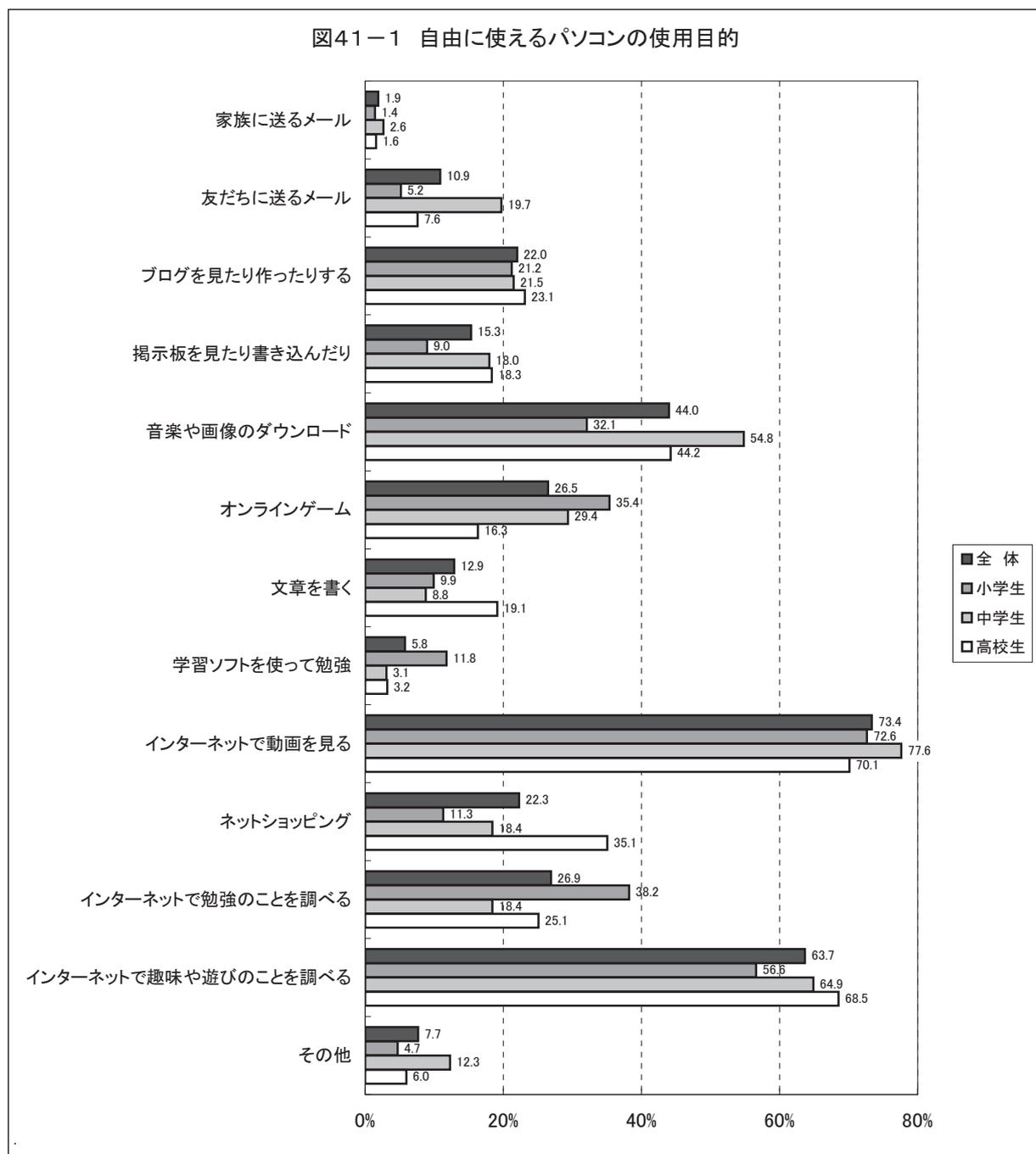
【全体集計結果】

自由に使えるパソコンの使用目的を尋ねたところ、「インターネットで動画を見る」が73.4%で最も高く、以下、「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(63.7%)、「音楽や画像のダウンロード」(44.0%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「インターネットで動画を見る」(小学生:73.4%、中学生:72.6%、高校生:70.1%)、「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(小学生:63.7%、中学生:64.9%、高校生:68.5%)が上位を占めている。

以下、小学生は「オンラインゲーム」(44.0%)、中学生、高校生は「音楽や画像のダウンロード」(中学生:54.8%高校生:44.2%)などとなっている。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

「インターネットで動画を見る」(79.6%)
 「オンラインゲーム」(41.8%)
 「音楽や画像のダウンロード」(29.6%)

〈小学女子〉

「インターネットで動画を見る」(66.7%)
 「音楽や画像のダウンロード」(34.2%)
 「オンラインゲーム」(29.8%)

〈中学男子〉

「インターネットで動画を見る」(77.6%)
 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(72.0%)
 「音楽や画像のダウンロード」(56.1%)

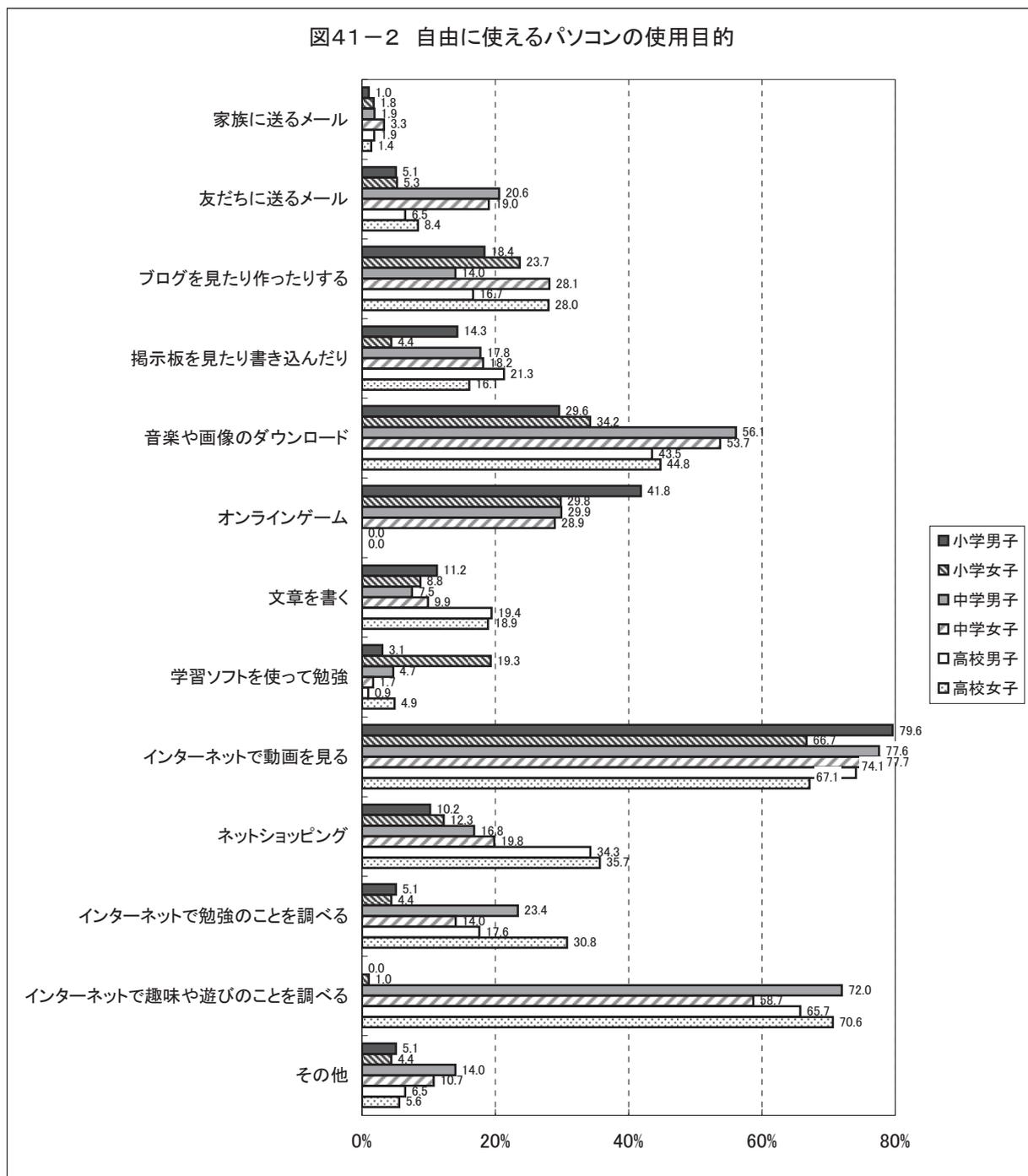
「インターネットで動画を見る」(77.7%)
 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(58.7%)
 「音楽や画像のダウンロード」(53.7%)

〈高校男子〉

「インターネットで動画を見る」(74.1%)
 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(65.7%)
 「音楽や画像のダウンロード」(43.5%)

「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(70.6%)
 「インターネットで動画を見る」(67.1%)
 「音楽や画像のダウンロード」(44.8%)

図41-2 自由に使えるパソコンの使用目的



< 自由に使えるパソコンの使用時間 >

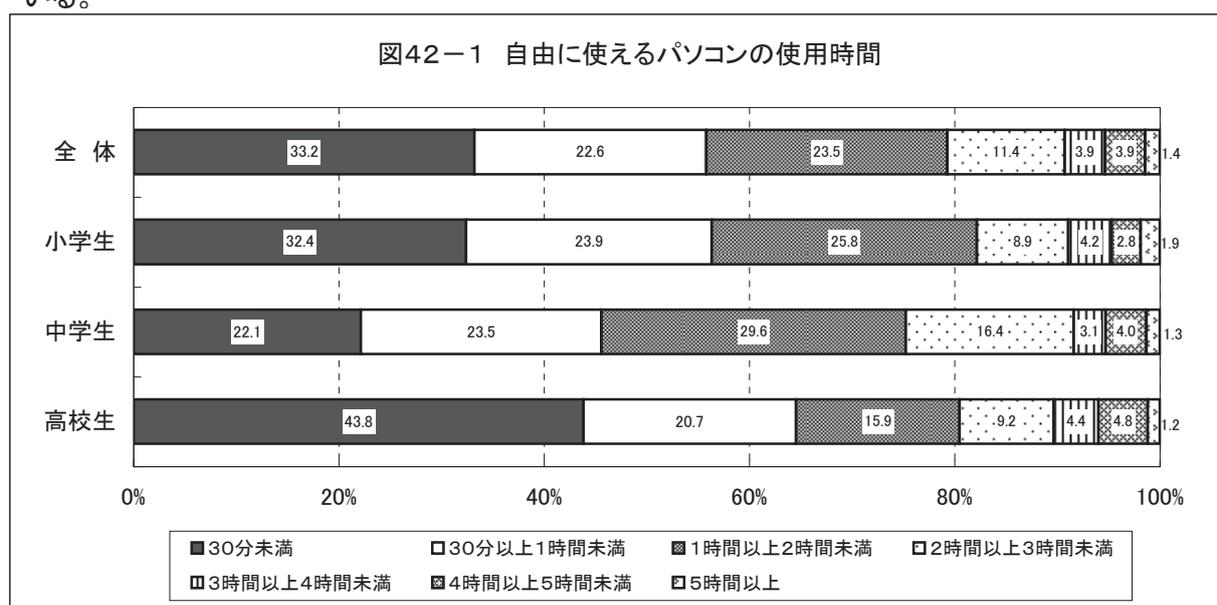
問25(2) 問25で「ある」を選んだ人に聞きます。あなたは、パソコンを一日にどのくらい使用していますか。

【全体集計結果】

自由に使えるパソコンの使用時間を尋ねたところ、「30分未満」が33.2%で最も高く、以下、「1時間以上2時間未満」(23.5%)、「30分以上1時間未満」(22.6%)などとなっている。

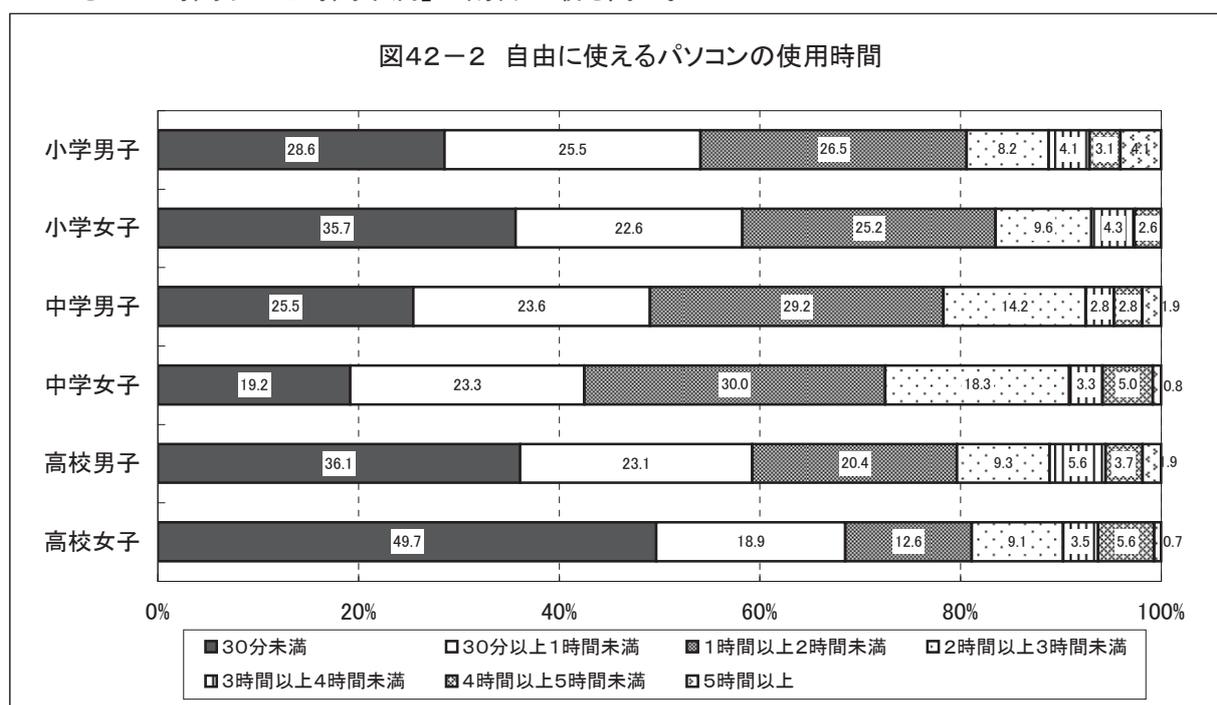
【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「30分未満」(小学生:32.4%、中学生:22.1%、高校生:43.8%)、「30分以上1時間未満」(小学生:23.9%、中学生:23.5%、高校生:20.7%)、「1時間以上2時間未満」(小学生:25.8%、中学生:29.6%、高校生:15.9%)が上位を占めている。



【属性別集計結果】

使用時間について、小学生男女、高校生男女が「30分未満」が最も高いのに対して、中学生は男女ともに「1時間以上2時間未満」の割合が最も高い。



< 年齢が制限されているサイトへのアクセス状況 >

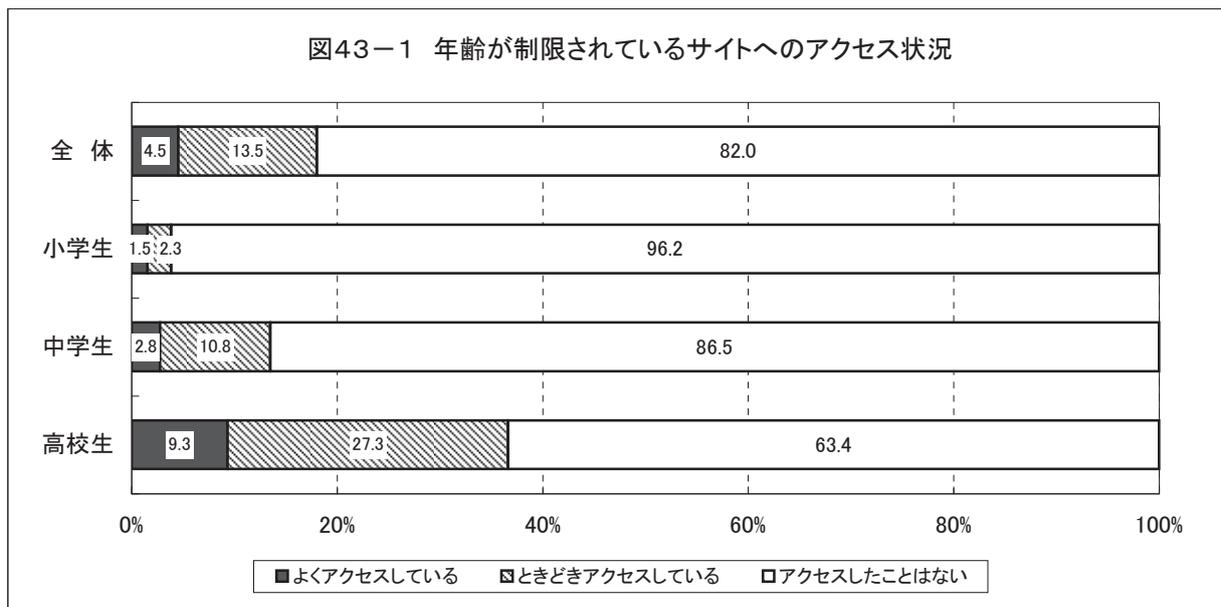
問26 あなたは、携帯電話やパソコンを使って、年齢が制限されているサイトにアクセスしたことはありますか。

【全体集計結果】

年齢が制限されているサイトにアクセスしたことがあるかどうか尋ねたところ、「アクセスしたことはない」が82.0%で最も高い。

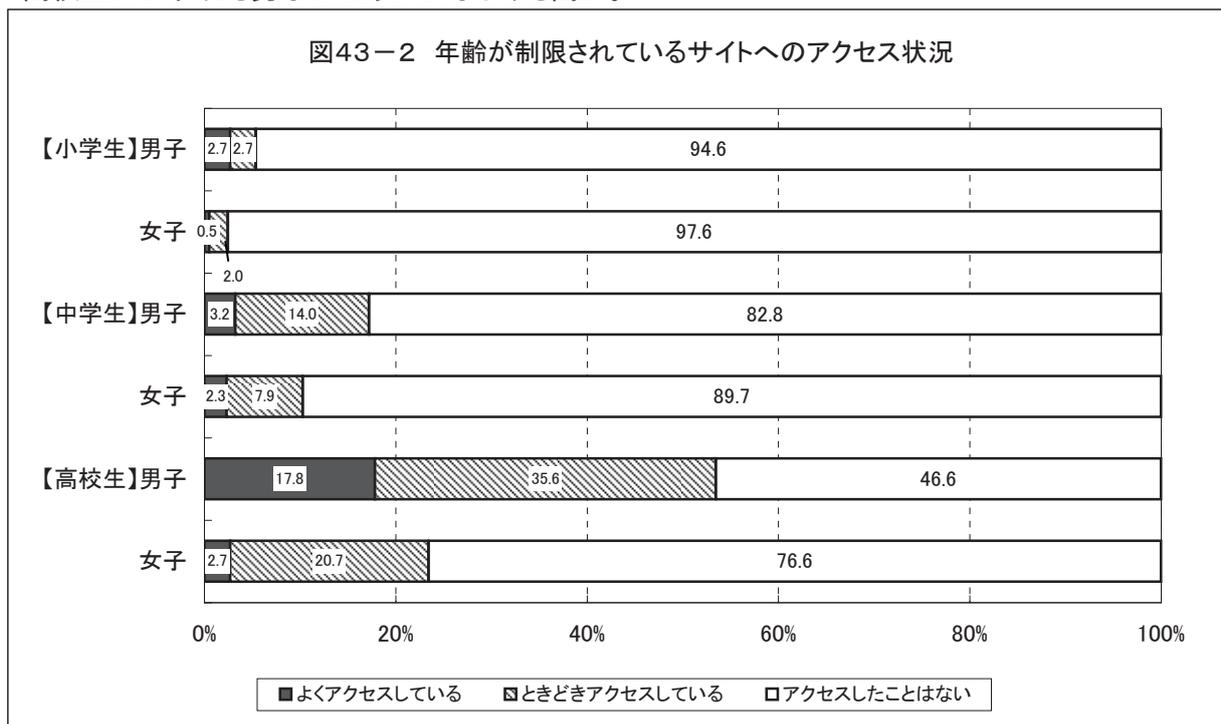
【学校種別集計結果】

「よくアクセスしている」、「ときどきアクセスしている」を合わせた『アクセスしたことがある』を見てみると、高校生が36.6%で最も高く、以下、中学生(13.6%)、小学生(3.8%)となっている。



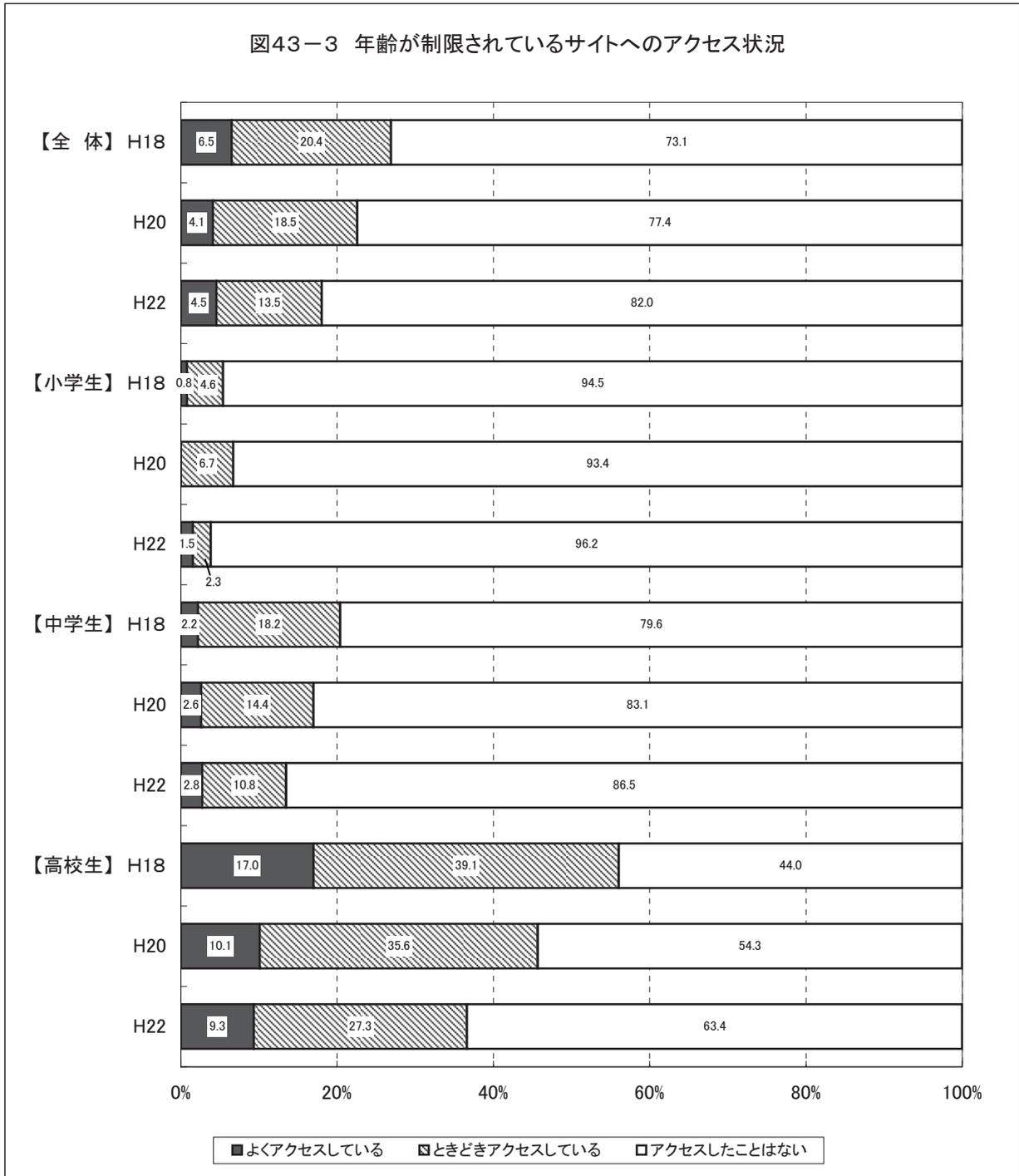
【属性別集計結果】

『アクセスしたことがある』を見てみると、高校男子が53.4%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも男子のほうが女子よりも高い。



【時系列比較(平成18年度、20年度と22年度との調査比較)】

『アクセスしたことがある』を見てみると、全体では平成20年度を4.6ポイント下回っている。学校種別に見てみると、小学生では2.9ポイント、中学生では3.5ポイント、高校生では9.1ポイント下回っている。



< 「学校裏サイト」へのアクセス状況 >

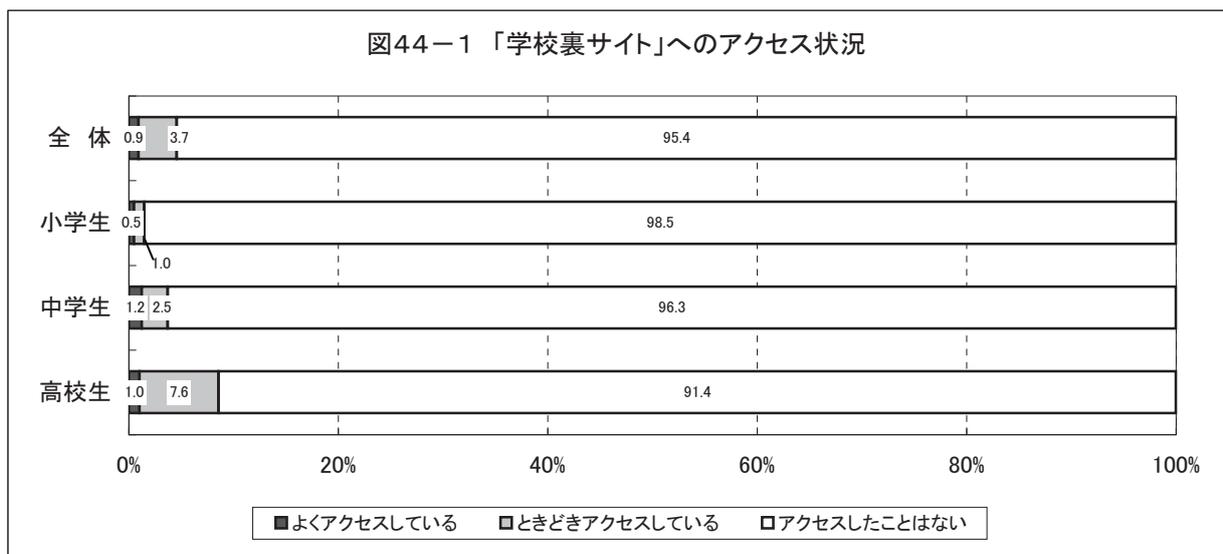
問27 あなたは、いわゆる「学校裏サイト」と言われるサイトにアクセスしたことがありますか。

【全体集計結果】

「学校裏サイト」にアクセスしたことがあるかどうか尋ねたところ、「アクセスしたことはない」が95.4%と最も高い。

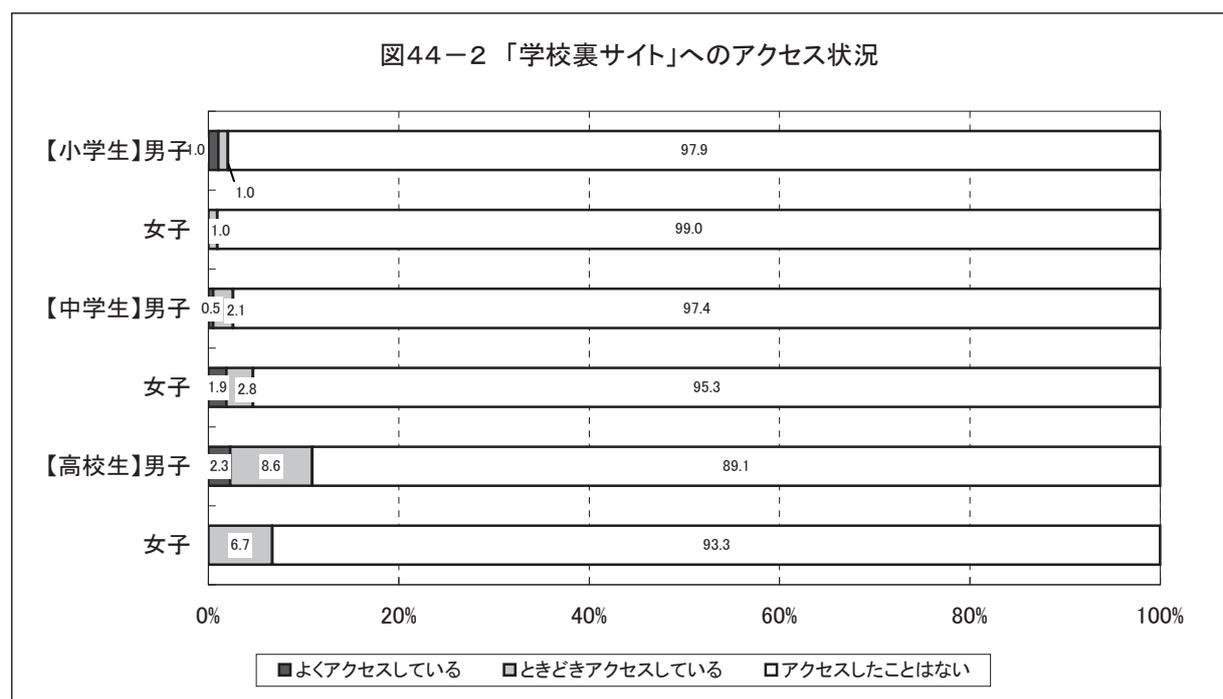
【学校種別集計結果】

「よくアクセスしている」、「ときどきアクセスしている」、「何度かアクセスしたことはある」を合わせた『アクセスしたことがある』を見てみると、高校生が8.6%で最も高く、以下、中学生(3.7%)、小学生(1.5%)となっている。



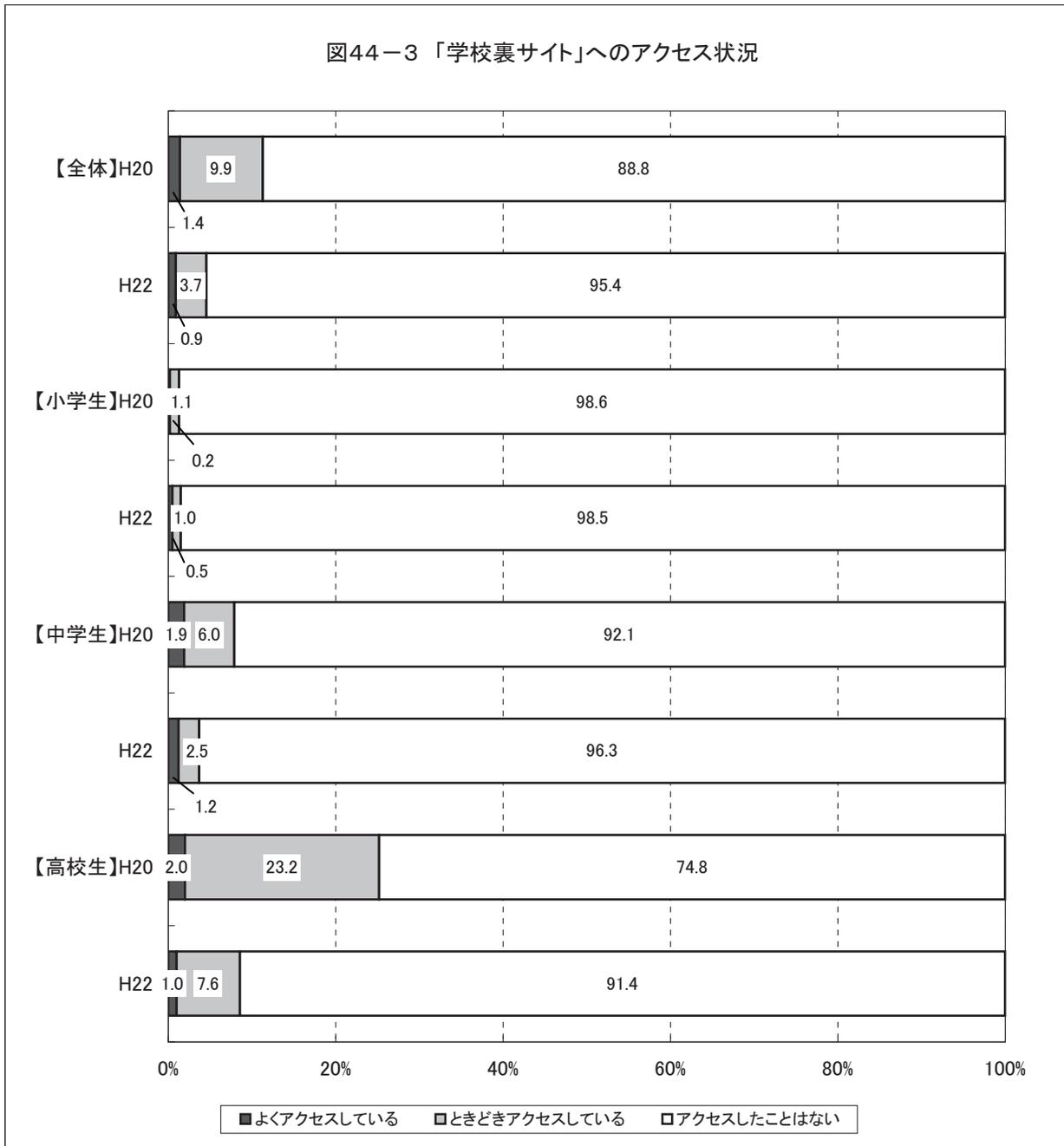
【属性別集計結果】

『アクセスしたことがある』を見てみると、高校男子が10.9%で最も高い。また、小学生、高校生では男子のほうが女子よりも高いが、中学生では女子のほうが男子よりも高い。



【時系列比較(平成20年度と22年度との調査比較)】

『アクセスしたことがある』について、平成20年度と22年度を比較してみると、は、全体では20年度(11.3%)よりも6.7ポイント下回っている。学校種別にみると、小学生では20年度(1.3%)よりも0.2ポイント上回っているが、中学生では20年度(7.9%)よりも4.2ポイント下回り、高校生では20年度(25.2%)よりも16.6ポイント下回っている。



< フィルタリング機能の認知状況 >

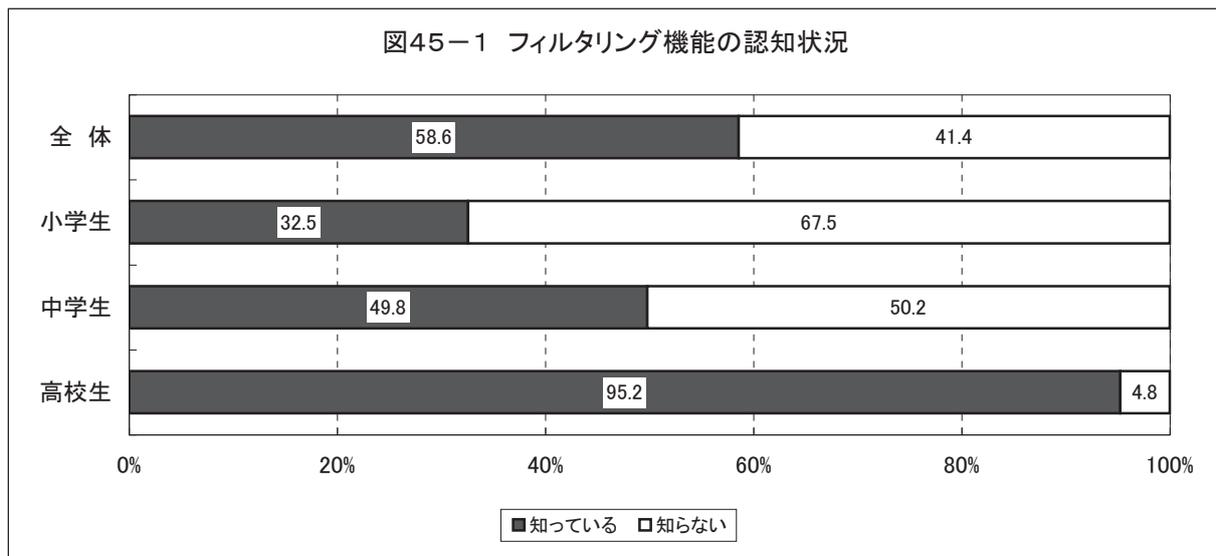
問28 あなたは、携帯電話やパソコンのフィルタリング機能(青少年にとって好ましくないサイトを見られないようにする機能)について、知っていますか。

【全体集計結果】

フィルタリング機能を知っているかどうか尋ねたところ、「知っている」が58.6%で「知らない」(41.4%)を17.2ポイント上回っている。

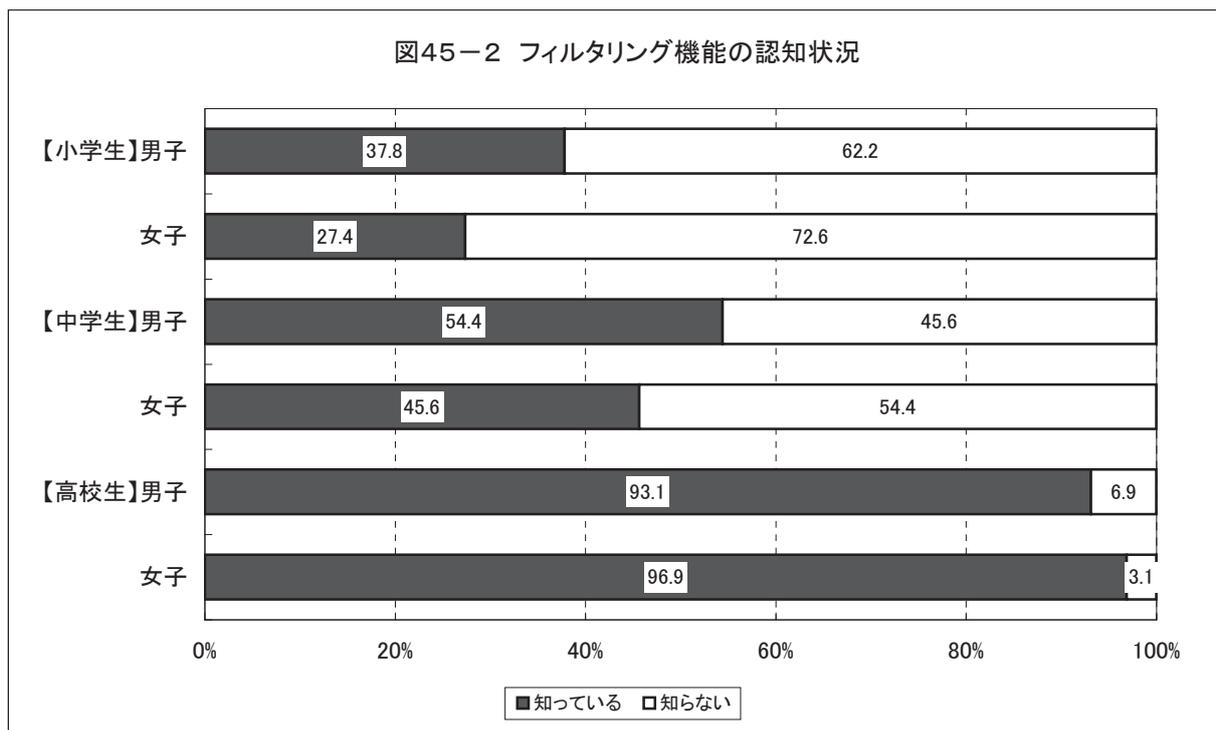
【学校種別集計状況】

「知っている」を見てみると、高校生が95.2%で最も高く、以下、中学生(49.8%)、小学生(32.5%)となっている。



【属性別集計結果】

「知っている」を見てみると、高校女子が96.9%で最も高く、以下、高校男子(93.1%)、中学男子(54.4%)となっている。また、高校生は女子のほうが男子よりも高いが、小学生、中学生は男子のほうが女子よりも高い。



< 携帯電話のフィルタリング機能の利用状況 >

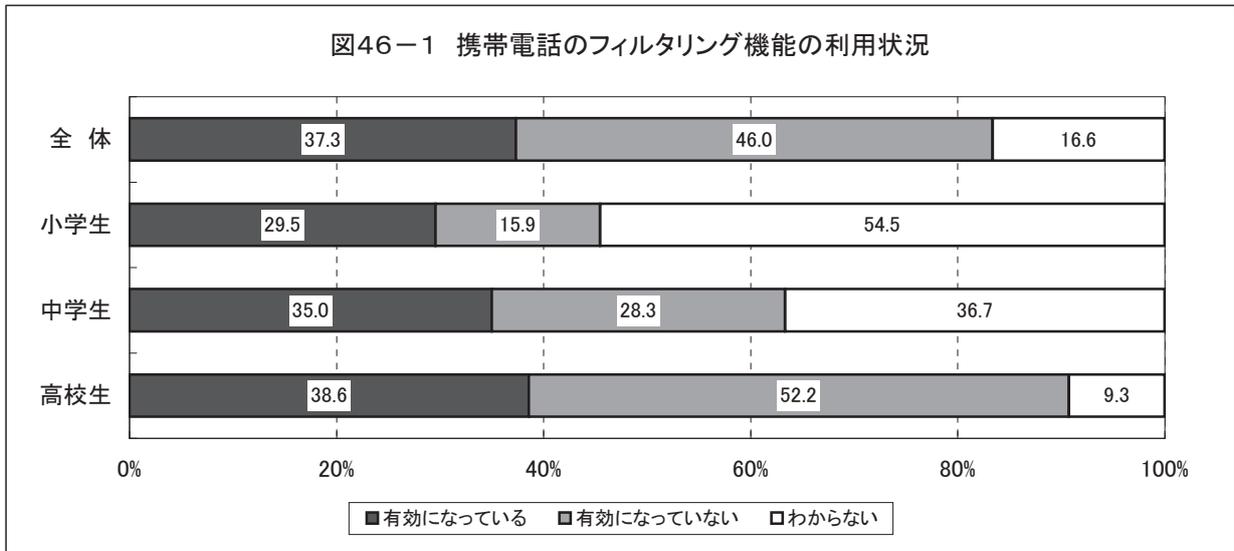
問29 問24の(1)で「携帯電話を持っている」を選んだ人だけ教えてください。あなたが使用している携帯電話は、フィルタリング機能が有効になっていますか。

【全体集計結果】

使用している携帯電話のフィルタリング機能が有効になっているかどうかを尋ねたところ、「有効になっていない」が46.0%で最も高く、以下「有効になっている」(37.3%)、「わからない」(16.6%)となっている。

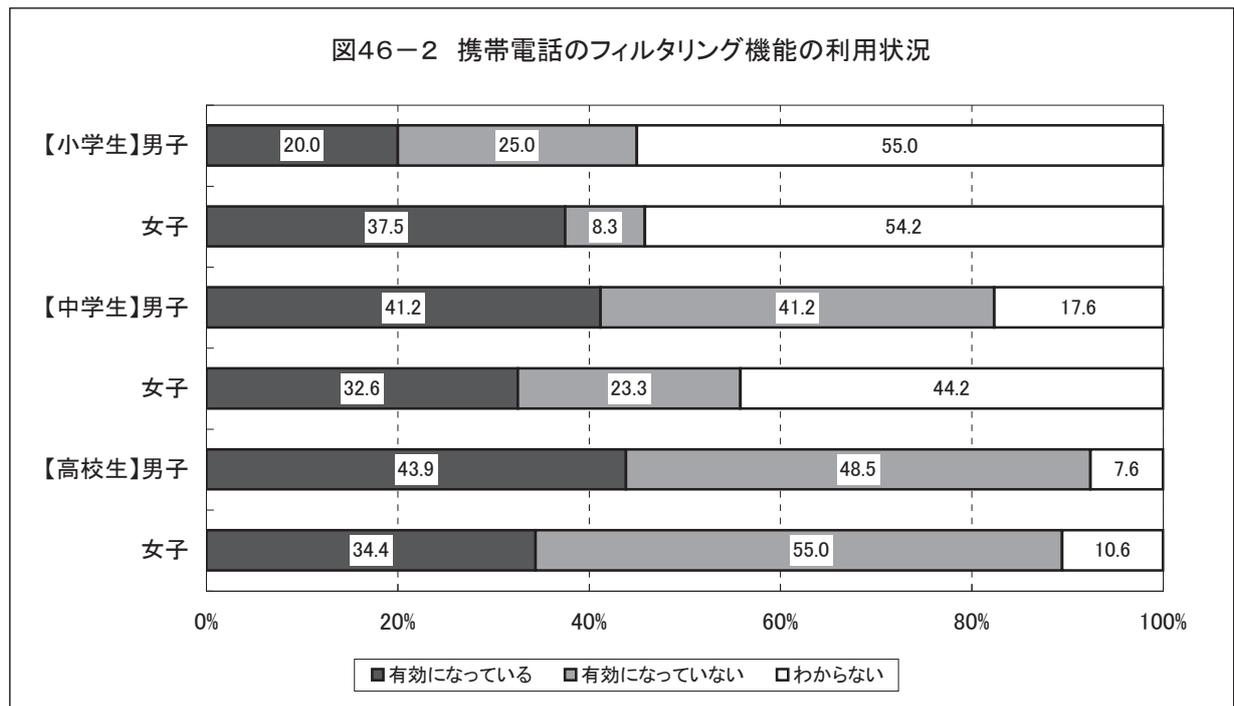
【学校種別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校生が38.6%で最も高く、以下、中学生(35.0%)、小学生(29.5%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、高校生が52.2%で最も高く、以下、中学生(28.3%)、小学生(15.9%)となっている。また、小学生については、半数以上が「わからない」(54.5%)となっている。



【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校男子が43.9%で最も高い。また、小学生は女子のほうが男子よりも高いが、中学生、高校生は男子のほうが女子よりも高い。



< パソコンのフィルタリング機能の利用状況 >

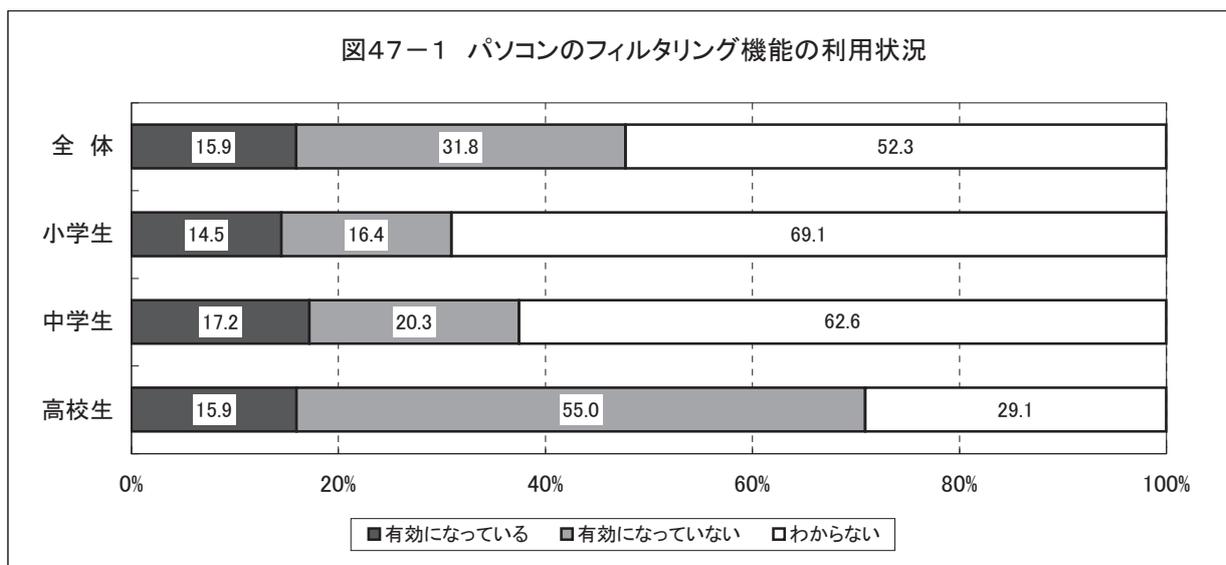
問30 問25の(1)で「自由に使えるパソコンがある」を選んだ人だけ答えて下さい。あなたが使用しているパソコンは、フィルタリング機能が有効になっていますか。

【全体集計結果】

自由に使えるパソコンのフィルタリング機能が有効になっているかどうかを尋ねたところ、「わからない」が52.3%で最も高い。

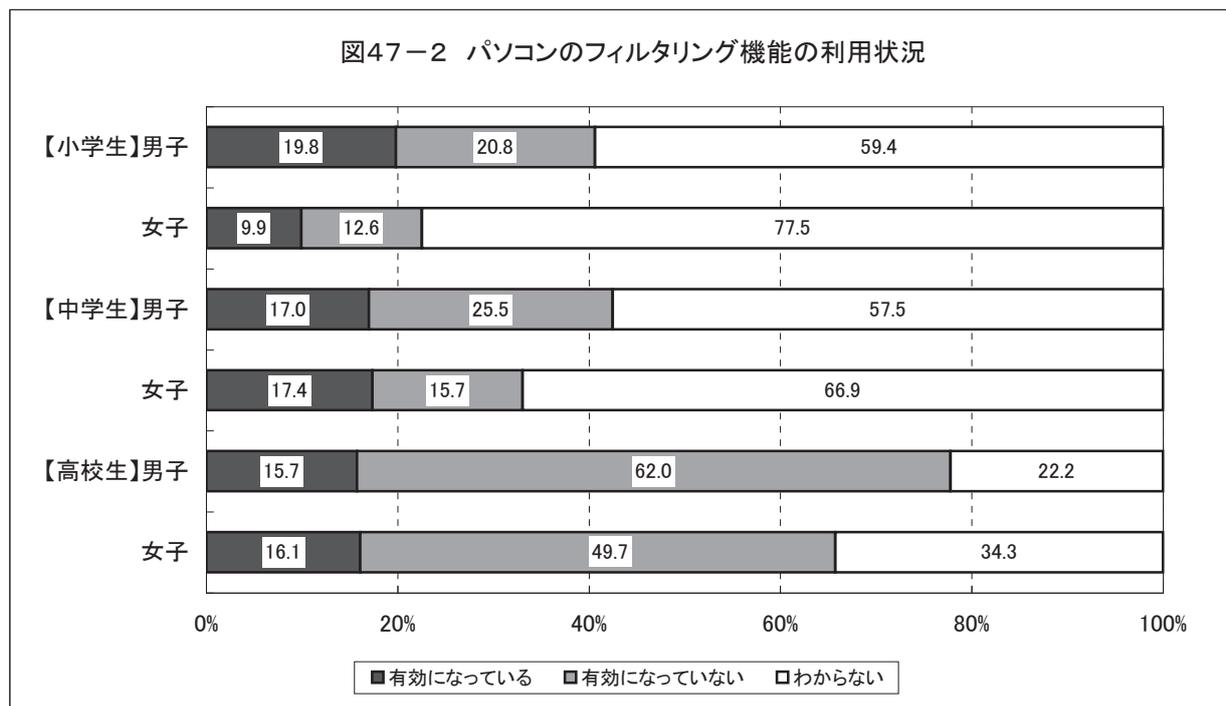
【学校種別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、中学生が17.9%で最も高く、以下、高校生(15.9%)、小学生(14.5%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、高校生が55.0%で最も高く、以下、中学生(20.3%)、小学生(16.4%)となっている。また、小学生と中学生については、半数以上が「わからない」(小学生:69.1%、中学生:62.6%)となっている。



【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、小学男子が19.8%で最も高い。また、小学生は男子のほうが女子よりも高いが、中学生と高校生については男女間にほとんど差は見られない。





青森県青少年健全育成条例第21条の2 インターネット上の有害情報からの青少年の保護

インターネット上のアダルトサイト等を介したトラブルが増加していることから、有害情報から青少年を保護することを目的に、青森県青少年健全育成条例を平成18年10月に改正（新設）し、平成19年4月1日から施行しました。

保護者や事業者等は、青少年がトラブルに遭わないようフィルタリングソフトの活用や情報提供などに努めなければなりません。

* 用語の定義

「青少年」・・・18歳の者（婚姻した者を除く）

「保護者」・・・親権を行う者、後見人その他の者で青少年を現に監護する者

「有害情報」・・・①青少年の性的感情を刺激し、かつ、青少年の健全な育成を阻害するおそれがある情報

②青少年の粗暴性又は残虐性を助長し、かつ、青少年の健全な育成を阻害するおそれがある情報

（例）アダルトサイト、出会い系サイト、犯罪を助長するようなサイト、薬物や爆弾の情報サイトなど

* 条例の内容

○保護者や学校の関係者等の青少年の育成に携わる者は、有害情報を青少年に閲覧等させないように努めなければなりません。

○インターネットカフェや公共施設等でインターネットを入場者に利用させる者は、フィルタリングソフトの活用等の適切な方法により、有害情報を青少年に閲覧等させないように努めなければなりません。

○パソコンや携帯電話等の販売業者やプロバイダ等のインターネット事業者は、有害情報を青少年に閲覧等させないようにするため、フィルタリングソフトの活用等の必要な情報を提供するように努めなければなりません。

* フィルタリングとは

インターネット上で公開されている情報について、ある条件と一致する情報を遮断する等によりパソコンなどの画面に表示させない機能のことです。こうした機能を持ったソフトウェアのことをフィルタリングソフトと呼んでいます。

フィルタリング機能を活用するには市販のフィルタリングソフトのほか、プロバイダによるフィルタリングサービスなどがあります。また、携帯電話の場合はプロバイダの有害サイトアクセス制限サービスなどがあります。

< インターネット利用時のエチケットやマナーの認知状況 >

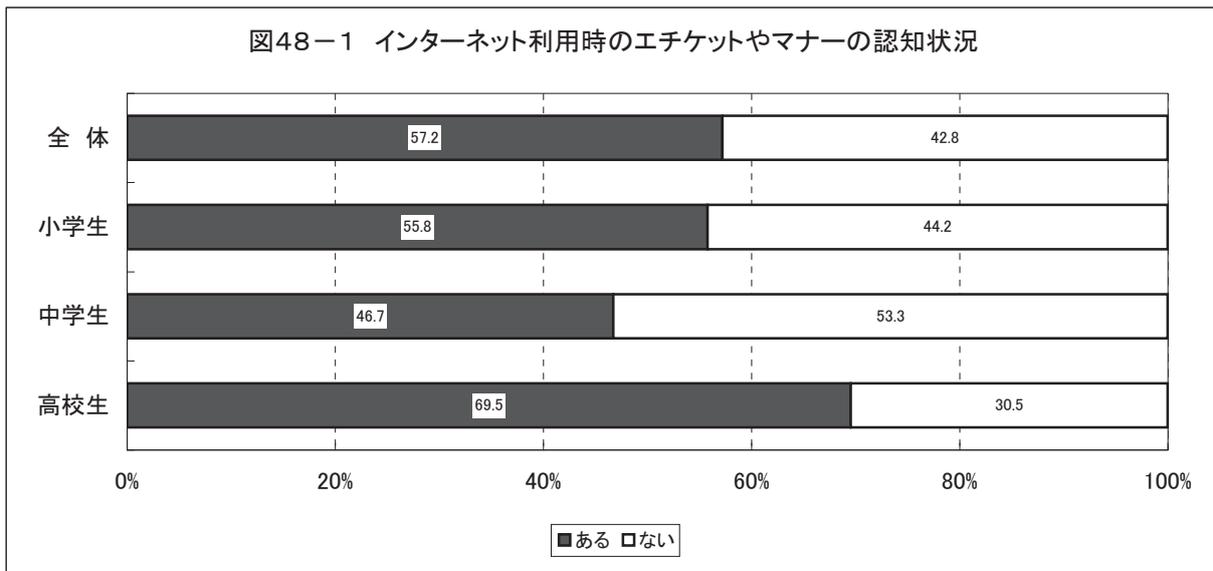
問31 あなたは、携帯電話やパソコンでインターネットを利用する時のエチケットやマナーを教えてもらったことはありますか。

【全体集計結果】

インターネットを利用する時のエチケットやマナーを知っているかどうか尋ねたところ、「ある」が57.2%となっており、「ない」(42.8%)を14.4ポイント上回っている。

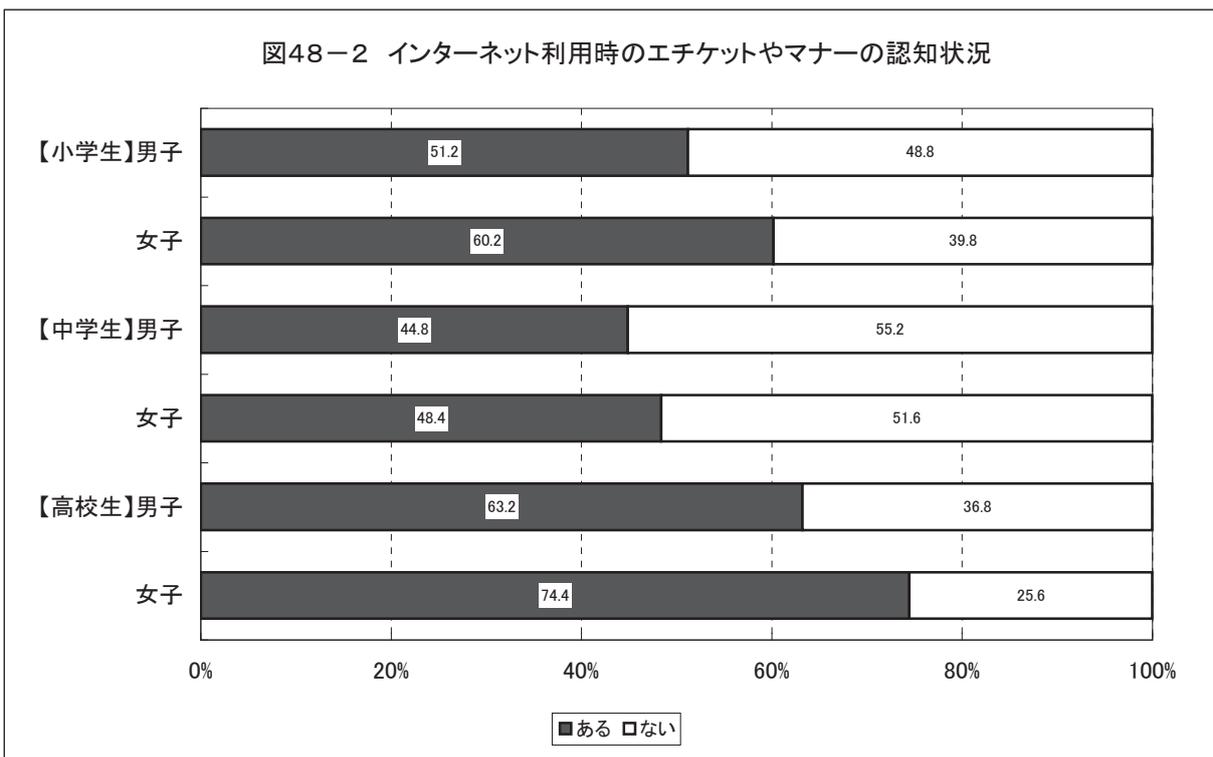
【学校種別集計状況】

「ある」を見てみると、高校生が69.5%で最も高く、以下、小学生(55.8%)、中学生(46.7%)、となっている。



【属性別集計結果】

「ある」を見てみると、高校女子が74.4%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のすべての学校種別で女子のほうが男子よりも高い。



＜ インターネット利用時のエチケットやマナーをどのようにして知ったか ＞

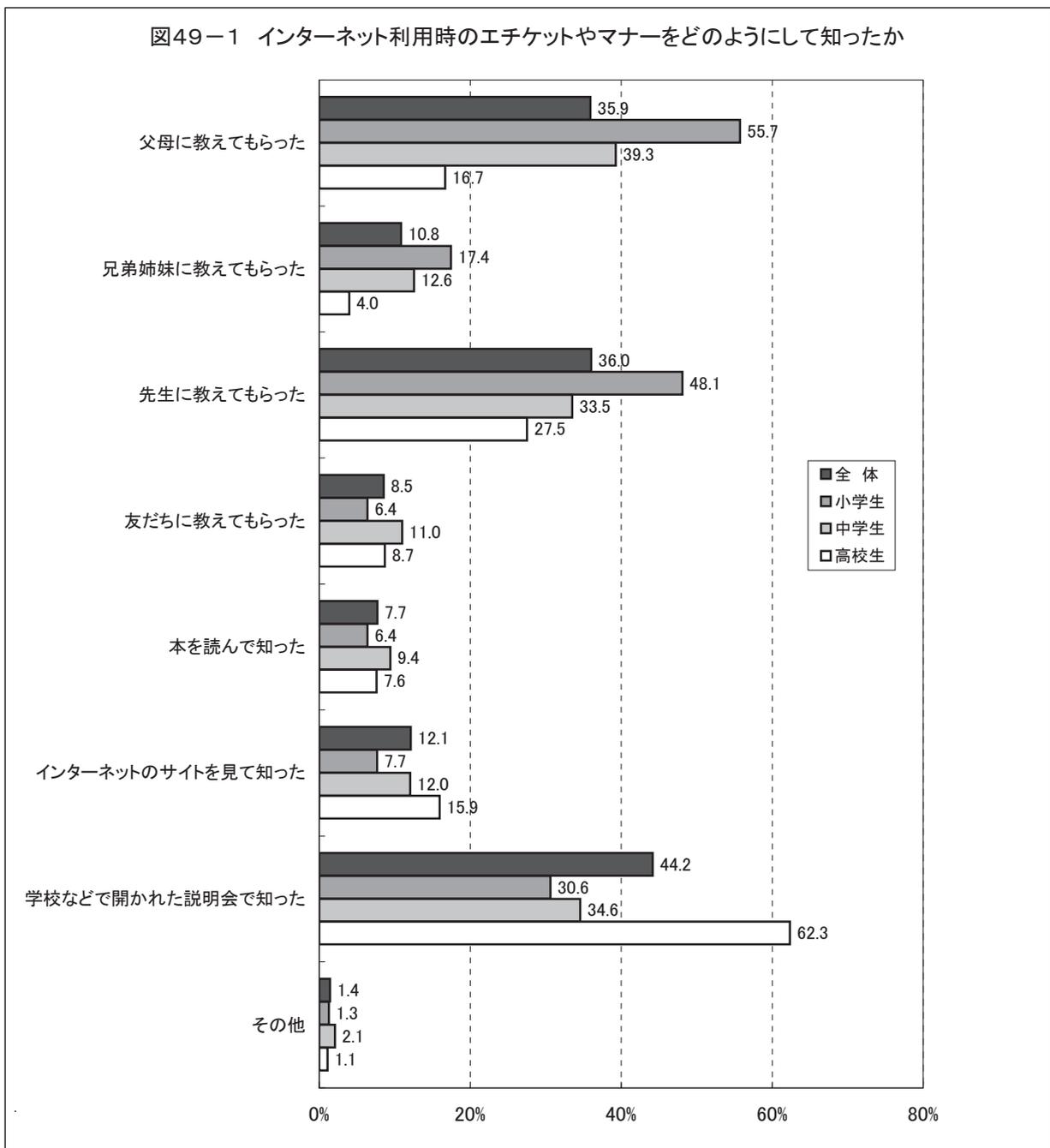
問31(1)	問31で「ある」を選んだ人に聞きます。あなたは、携帯電話やパソコンでインターネット利用時のエチケットやマナーをだれに教えてもらいましたか(どうやって知りましたか)あてはまるものは、いくつでも選んでください。
--------	---

【全体集計結果】

携帯電話やパソコンでインターネットを使用するときのエチケットやマナーをどのようにして知ったか尋ねたところ、「学校などで開かれた説明会で知った」が44.2%で最も高く、以下、「先生に教えてもらった」(36.0%)、「父母に教えてもらった」(35.9%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「学校などで開かれた説明会で知った」(小学生:30.6%、中学生:34.6%、高校生62.3%)、「先生に教えてもらった」(小学生:48.1%、中学生:33.5%、高校生27.5%)、「父母に教えてもらった」(小学生:55.7%、中学生:39.3%、高校生16.7%)が上位を占めていが、その割合には学校種別で差が見られる。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

「先生に教えてもらった」(49.5%)
 「父母に教えてもらった」(45.7%)
 「学校などで開かれた説明会で知った」(34.3%)

〈小学女子〉

「父母に教えてもらった」(63.8%)
 「先生に教えてもらった」(46.9%)
 「学校などで開かれた説明会で知った」(27.7%)

〈中学男子〉

「先生に教えてもらった」(36.0%)
 「父母に教えてもらった」(31.4%)
 「学校などで開かれた説明会で知った」(26.7%)

〈中学女子〉

「父母に教えてもらった」(45.7%)
 「学校などで開かれた説明会で知った」(41.0%)
 「先生に教えてもらった」(31.4%)

〈高校男子〉

「学校などで開かれた説明会で知った」(49.1%)
 「先生に教えてもらった」(31.8%)
 「父母に教えてもらった」(16.4%)

〈高校女子〉

「学校などで開かれた説明会で知った」(71.1%)
 「先生に教えてもらった」(24.7%)
 「父母に教えてもらった」(16.9%)
 「インターネットのサイトを見て知った」(16.9%)

図49-2 インターネット利用時のエチケットやマナーをどのようにして知ったか

